

# うるま市議会だより

今回の定例会は

2月 6月

第55号

12月 9月

平成31年(2019)

発行 3月 1日

平成30年12月7日、みほそ及びみほそ第二小規模保育事業所(写真:左)では、中庭の既存フェンスの危険性について調査した。宮森小学校(写真:右)では、一時避難場所となる校舎屋上への階段やエレベーターの整備計画などを調査した。



## 又吉法尚基地対策委員長が意見書を読み上げ、嚴重に抗議するとともに訓練中止を強く要請した。

平成30年12月26日、12月定例会において全会一致で可決された「津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める意見書」を沖縄防衛局長に手交し、「津堅島沖で繰り返し行われるパラシュート降下訓練に対して、市民に大きな不安を与えている」と抗議した。

### 11月臨時会

専決処分の報告や市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例などが可決されました。

### 12月定例会

12月3日から12月20日までの18日間の会期で開催され、平成30年度各会計補正予算や指定管理者の指定などが可決され、県民投票関連予算は否決されました。

### 1月臨時会

12月定例会で否決された県民投票関連予算が再議に付され、さきの議決(否決)の通り決定しました。

## 目次

臨時会及び定例会の経過	2
議案に対する賛否一覧	2
臨時会及び定例会の議決結果	3~4
一般質問	6~19
意見書及び抗議決議	19
編集後記	20



うるま市議会ホームページ

<https://www.city.uruma.lg.jp/shisei/162>

『調査』

『要請』



## 平成30年11月第128回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第 29 号	専決処分の報告について(農水産業振興戦略拠点施設第2期工事(建築))	市 長	11月27日	報 告
報告第 30 号	専決処分の報告について(農水産業振興戦略拠点施設第2期工事(電気))	//	//	//
報告第 31 号	専決処分の報告について(車両物損事故)	//	//	//
報告第 32 号	専決処分の報告について(車両物損事故)	//	//	//
報告第 33 号	専決処分の報告について(車両物損事故)	//	//	//
議案第108号	うるま市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (平成30年人事院勧告及び沖縄県人事委員会勧告に鑑み、市職員の給与を 改定するための条例改正)	//	//	原案可決
議案第109号	うるま市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を 改正する条例 (市特別職の職員で常勤のもの期末手当を改定するための条例改正)	//	//	//
議案第110号	うるま市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正 する条例 (市議会議員の期末手当を改定するための条例改正)	//	//	//

## 平成30年12月第129回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
報告第 34 号	専決処分の報告について(車両物損事故)	市 長	12月6日	報 告
議案第111号	平成30年度うるま市一般会計補正予算(第4号) (補正額:1,510,669千円 補正後予算:59,778,211千円)	//	12月12日	原案可決
議案第112号	平成30年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	//	12月20日	//
議案第113号	平成30年度うるま市介護保険特別会計補正予算(第3号) (補正額:178,666千円 補正後予算:9,713,565千円)	//	12月12日	//
議案第114号	平成30年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (補正額:137千円 補正後予算:1,017,321千円)	//	//	//
議案第115号	平成30年度うるま市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) (補正額:8,100千円 補正後予算:2,437,539千円)	//	//	//
議案第116号	平成30年度うるま市水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	//
議案第117号	うるま市市道路線の廃止及び認定について (開発道路の市への帰属、中城湾港新港地区の道路移管及び勝連7-8号線 の終点の変更に伴い、市道として廃止及び認定する必要があるため)	//	12月20日	//
議案第118号	指定管理者の指定について(うるま市立体育施設) (指定管理者:うるま文化・スポーツパートナーズ 代表団体 株式会社セ イカスポーツセンター)	//	//	//
議案第119号	家賃及び共益費請求事件の和解金を定め和解することについて	//	12月12日	//
議案第120号	車両事故の損害賠償額を定め和解することについて	//	12月20日	//
議案第121号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例 (うるま市指定管理候補者選定委員会の名称及び担任業務を変更するた めの条例改正)	//	//	//
議案第122号	うるま市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例 (地域未来投資促進法第25条に定める地方税の課税免除措置に伴う条例改 正)	//	//	//
議案第123号	うるま市都市公園条例の一部を改正する条例 (都市公園法施行令の改正に伴い、都市公園内における運動施設の割合を 定め及び都市公園における指定管理者の指定等について定めるための条例 改正)	//	//	//

## 平成30年12月第129回うるま市議会(定例会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
議案第124号	うるま市立学校設置条例の一部を改正する条例 (天願幼稚園及び平敷屋幼稚園を公私連携幼保連携型認定こども園に移行することに伴う条例改正)	市 長	12月20日	原案可決
議案第125号	うるま市火災予防条例の一部を改正する条例 (消防法令に重大な違反のある防火対象物の当該違反内容の公表並びに防火・防災の教育体制を整えること及び消防活動を円滑に行うための条例改正)	//	//	//
議案第126号	監査委員の選任について (伊波 良明)	//	12月12日	同 意
議案第126号	監査委員の選任について(再議の件) ※平成30年12月12日に議決(同意)された議案第126号について、市長より、地方自治法第176条第4項に基づき再議に付されたため、平成30年12月13日に審議した結果、さきの議決(同意)のとおり決定した	//	12月13日	//
議案第127号	平成30年度うるま市一般会計補正予算(第5号) (補正額:25,629千円 補正後予算:59,803,840千円)	//	12月20日	否 決
発議第19号	すべての沖縄の子供たちの健やかな成長のためにこども医療費助成に係る国の制度化を求める意見書	大城 直議員 外6名	//	原案可決
発議第20号	すべての沖縄の子供たちの健やかな成長のためにこども医療費助成制度の拡充を求める意見書	//	//	//
発議第21号	津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める意見書	又吉 法尚議員 外10名	//	//
発議第22号	津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める抗議決議	//	//	//
請 願 第 1 号	うるま市石川美原7号線改善工事の請願書	砂川 徳二外1名 紹介議員 伊波 良明	//	趣旨採択
陳 情 第 1 号	すべての沖縄の子どもたちの健やかな成長のためにこども医療費助成制度の拡充を求める陳情書	沖縄県社会保障推進 協議会 会長 新垣 安男	//	採 択
陳 情 第 2 号	平成31年度福祉施策及び予算の充実について(要請)	沖縄県社会福祉施策・ 予算対策協議会 会長 湧川 昌秀	//	趣旨採択
陳 情 第 3 号	いちい具志川じんぶん館市民研修室等の用途変更に関する陳情書	株式会社小林労務 代表取締役 上村 美由紀	//	不 採 択
陳 情 第 4 号	平成31年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い	公益社団法人日本理 科教育振興協会 会長 大久保 昇	//	趣旨採択
陳 情 第 5 号	うるま市石川屋内運動場を修理し運用再開する事の陳情書	NPO法人沖縄県ジュ ニア育成会事務局 仲 間 直 外3名	//	//
陳 情 第 6 号	普天間基地5年以内運用停止の遵守を求める議会決議の陳情	沖縄「建白書」を実現 し未来を拓く島ぐる み会議・ぎのわん 共 同代表 安次嶺 美代 子、新垣 清涼、知念 吉男、宮城 一郎	//	不 採 択

## 平成31年1月第130回うるま市議会(臨時会)議決結果

議案番号	案 件 名	提案者	議決日	議決結果
-	議案第127号 平成30年度うるま市一般会計補正予算(第5号)の再議について (平成30年12月20日に議決(否決)された議案第127号について、市長より、地方自治法第177条第1項に基づき再議に付されたため、平成31年1月8日に審議した結果、さきの議決(否決)のとおり決定した)	市 長	1月8日	さきの議決 を可決
発議第1号	[辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例]に反対する意見書	仲本辰雄議員 外6名	//	原案可決

## 平成30年12月定例会常任委員会の審査概要

委員会に付託された議案・発議案・請願・陳情について、各常任委員会が担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

### 企画総務委員会

当委員会では、議案5件を審査した。

主な審査内容として、「うるま市火災予防条例の一部を改正する条例」について、委員より「平成32年4月から施行だが、公表すべき件数の想定はあるか」との質疑があり、当局より「現時点での違反は、スプリンクラー設備が2事業所、自動火災報知設備が7事業所である。スプリンクラー設備の違反は、今年度でゼロになる見込みで、自動火災報知設備の違反についても立ち入り指導等、協議が始まっており、公表までにゼロに持っていきたいと考えている」との答弁があった。

また、うるま市固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について、委員より「促進区域とは、どここのことを指しているか」との質疑があり、当局より「促進区域は、沖縄県全市町村全域である」との答弁があった。

審議の結果、議案は1件を否決し、4件を原案可決とした。

### 建設委員会

当委員会では、議案6件、請願1件を審査した。

主な審査内容として「議案第116号 平成30年度うるま市水道事業会計補正予算（第1号）」では、「有効率向上支援業務委託の業者選定方法と、これまでの成果について」質疑があり、「委託業者については、プロポーザル方式にて選定を考えている。また過去の有収率については、平成25年度が86・61%、平成26年度が88・03%、平成27年度が90・98%、平成28年度が91・47%、平成29年度が92・65%と毎年成果を上げており、上水道を企業局から購入した単価で単純に計算した場合、平成25年度は、約1億6,220万円の漏水損失があったが、平成29年度は約6,993万円となり、1億円程度削減できたと考えている」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案のとおり可決され、請願については趣旨採択となった。

### 教育福祉委員会

当委員会では、議案4件、陳情4件を審査した。

主な審査内容として「うるま市立学校設置条例の一部を改正する条例」について、委員から「認定こども園に移行した際の名称について」質疑があり、当局から「認定こども園を運営する社会福祉法人とは、地域の名称を残す方向で協議を進めている」との答弁があった。また、委員から「天願幼稚園で3歳児を受け入れる際、遊具やその他施設の安全について」質疑があり、当局から「現状として、3歳児では手の届かない設備もあるので、3歳児を受け入れるための安全確認を行っている」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決し、陳情は1件を採択とし、3件は趣旨採択となった。



次年度から認定こども園に移行する「天願幼稚園」

### 市民経済委員会

当委員会では、議案4件、陳情1件を審査した。

主な審査内容として「指定管理者の指定について（うるま市立体育施設）」については、「指定管理をする施設は、市内企業育成のためにもまとめてではなく分割したほうがよいと考えるが」との質疑があり、当局から「部分的に指定管理した場合、施設の老朽化による修繕費や人件費等において余計に経費がかかってしまうことから、一括し指定管理すること、スケールメリットを生かした効率的な予算執行が可能になると考えている」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決し、陳情は不採択となった。



うるま文化・スポーツパートナーズを14施設の指定管理者として指定した



新 政・公 明  
な かもと たつ お  
仲 本 辰 雄

- 一 石川社会福祉センター跡地の活用について
- 二 学校給食費について
- 三 I-Tに関する契約額等の見直しについて
- 四 「海から豚がやってきた」について

一 石川社会福祉センター跡地の活用について

質問 平成27年2月定例会で、石川社会福祉センター跡地に複合施設を整備すべきと提案したが、その考え方がないか。

答弁 天願企画部長 石川地域の公共施設の多機能化や複合化を推進するための候補地として活用できればと考えている。

質問 児童館や福祉施設伊波メンサーイ芸館を設置すべきと考えているか。

答弁 天願企画部長 関係部署と連携を図り、公共施設の多機能化や複合化の推進に取り組んでいきたい。

二 学校給食費について

質問 うるま市も公会計化をして、会計のより一層の公正・透明性を確保して、厳正な徴収・管理を行うこと及び学校における働き方改革を推進すべきであると考えているか。

答弁 盛小根指導部長 公会計制度導入に向け、検討していきたい。

質問 保護者の教育負担軽減のため、学校給食費の無償化は避けて通れない課題である。3人目以降の児童・生徒を対象とする給食費の助成ができないか。

答弁 盛小根指導部長 国や県の子育て支援制度の拡充を注視し、関係部署と連携し検討したい。

三 I-Tに関する契約額等の見直しについて

質問 中部市町村でシステムの広域連

携を図ることで、大幅なコストダウンが期待できると思うが。

答弁 天願企画部長 複数の市町村が連携を図れば、割り勘効果等で、コストダウンにつながると考えている。

答弁 上岡副市長 他の自治体とどのような連携が可能か、調査・研究を進めていきたい。

四 「海から豚がやってきた」について

質問 豚を送った側のハワイは記念日を制定した。恩を感じなければならぬ。沖繩が先に制定すべきであったが。

答弁 宮城教育部長 うるま市単独での記念日制定を、関係団体や関係部署と協議していきたい。

質問 うるマルシエで来年、B.U.I.選手権の開催ができないか。

答弁 佐久川経済部長 養豚業の振興を図るため、養豚農家、うるマルシエの指定管理者及び関係団体等と協議を行い、豚食文化のさらなる普及方法として、海から豚がやってきたゆかりの地としての歴史的背景を広く周知し、うるマルシエの持つ情報発信機能も効果的に活用しながら、更なる集客アップへとつながるよう、開催に努めていきたい。

質問 絵本を毎年9月27日に市立の幼稚園、小学校、中学校で、読み聞かせが実施できないか。

答弁 宮城教育部長 学校現場や教育委員会、読み聞かせ関係団体などと協議し、実現を図っていきたい。

一 うるま市I-T事業支援センターの現状について

質問 保育所の4月開所について、園児募集や委託事業者等が決まっているか。

答弁 佐久川経済部長 4月開所に向けて準備している。12月中旬から募集し、一般社団法人あいくるが「アイビス赤崎保育所」として運営する。

二 伊波中学校跡地の整備について

質問 現在まだ進んでいない。現状の説明を求める。

答弁 宮城教育部長 まだ事業に着手できていないが、次年度に予算を要求し、事業化に取り組みたい。路盤材で整地した後に乳剤散布仕上げをしたい。また西側にはフェンスを設置し落下防止対策を予定している。予算は600万円程度を想定している。

三 学童保育職員基準について

質問 学童保育の職員基準を緩和する方針を厚生労働省が表明したと報道された。市の対応を伺う。

答弁 上岡副市長 現時点で通知はない。通知があれば慎重に検討したい。

質問 積極的に検討してほしい。週6日、8時間だと48時間労働となるが、労働基準法は原則40時間である。閉園や土曜休業は質の低下である。国が柔軟に対応して良いと言っているのであれば積極的に検討してほしい。

答弁 上岡副市長 内容を確認し検討したい。

四 うるま市立体育施設指定管理者の指定について

質問 石川多目的運動場など指定管理



か け は し  
な かもと ひ さ お  
松 田 久 男

- 一 うるま市I-T事業支援センターの現状について
- 二 伊波中学校跡地の整備について
- 三 学童保育職員基準について
- 四 うるま市立体育施設指定管理者の指定について
- 五 石川屋内運動場の修理について
- 六 石川庁舎跡地利用について

者の指定が除外されている理由を伺う。

答弁 佐久川経済部長 石川多目的運動場は都市公園内にあるため含まれていない。

質問 石川多目的運動場は以前はかなり明るく、市民がウオーキングなどに使っていたが、現在は照明が半分しかついてない。改善していただきたい。

答弁 宮城教育部長 早めに修繕を行い利用者の安全を確保したい。

五 石川屋内運動場の修理について

質問 台風により大きな被害が出ており、議会にも陳情書が出ている。以前のように使いたいというのが希望であるが、現状の考え方を伺う。

答弁 宮城教育部長 多額の経費を要する事から慎重に検討する。地域における役割が大きく、建てかえの可能性についても同様に検討していく。

質問 廃止、修繕、建てかえの判断の時期はあるか。

答弁 佐久川経済部長 短くても3カ月程度と考えている。

六 石川庁舎跡地利用について

質問 保育専門学校建設の提案があったが、進行状況を伺う。

答弁 天願企画部長 現在幅広く意見を聴取している。

質問 公募すると言ったり、しないと言ったり、具体的提案が今出てきた所でまた公募すると言ったり、非常に問題があると思うが。

答弁 天願企画部長 スピード感を持って跡地利用に取り組んでいきたい。



日本共産党  
いもり さちこ  
伊盛 サチ子

- 一 教育行政について
- 二 保育行政について
- 三 国保行政について

**一 教育行政について**  
**質問** 小・中学校の歯科健診の虫歯罹患率の状況について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 平成30年5月時点で、小学校45・1%、中学校37・9%。平成29年度の全国平均34・8%と比較しても高い値である。

**質問** 学校と連携を図り、この状況の改善に向けた取り組みの協議について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 虫歯罹患率の改善は、健康面や発達面だけではなく、学習や運動面への影響を及ぼすことが考えられる。保護者への効果的な指導や制度の周知、啓発について、校長会や教頭会、養護教諭研修会等で周知し、各関係部署との連携を図っていききたい。

**質問** ブロック塀の倒壊を受けて未整備となつている箇所は。

**答弁** 宮城教育部長 小・中学校及び幼稚園を含めて、あと24カ所の改修が必要。

**質問** 子供の安全を守ることを優先しなければならぬ。整備に係る予算規模は。

**答弁** 宮城教育部長 1億8,000万円から2億円の予算を見込む。

**質問** 国の補助金を活用し、改修する計画について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 2億円の概算要求をしている。交付決定をみて、2月定例会の補正予算に計上予定。平成31年度中に完了させたい。

**質問** 高校卒業まで子ども医療費無料化拡充について伺う。

**答弁** 上門子ども部長 新たな財源確保が必要となる。通院費の対象年齢を中学卒業まで実施するよう県に要請している。県と市が一体となつて負担できるように求めていきたい。

**質問** 現物給付の年齢拡充、一部負担の撤廃について伺う。

**答弁** 上門子ども部長 国や県の動向を踏まえ検討したい。

**二 保育行政について**

**質問** 社会福祉法人保育所建設で平成28年、平成29年の公費投入額が17億7,000万円余り。地域業者の受注機会の確保、入札契約手続の透明性・公平性のあり方を指摘してきたが、改善に向けた取り組みを伺う。

**答弁** 上門子ども部長 入札等の透明性のために、特別の利益供与の禁止事項を交付決定の条件に盛り込み、入札に関する指名業者の一覧、理事会等にて利害関係が明確でないことが示された様式等を含む議事録の提出を求めていく予定。

**三 国保行政について**

**質問** 国民健康保険税の引き上げにつながることはないよう、法定外繰り入れの継続について伺う。

**答弁** 当間市民部長 県の特別交付金の減額や不交付が予測されることから、慎重に検討したい。



いぶきの会  
おぎ どう せい じん  
荻 堂 盛 仁

- 一 台風被害(台風24号・25号の農作物)について
- 二 住居表示について
- 三 企業誘致について
- 四 津堅沖パラシュート降下訓練について

**一 台風被害(台風24号・25号の農作物)について**

**質問** 台風24号、25号の農作物の被害について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 推計被害額をまとめると、台風24号で3,396万円、25号で493万円、合計3,889万円となっている。

**質問** 市としての救済方法を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 国における支援対策事業の周知や活用する際に必要となる罹災証明書の早期発行に係る速やかな現地調査や申請者に対する書類作成指導等を行いながら、経営再建に取り組まれる農家を支援している。

**二 住居表示について**

**質問** 石川前原区の住居表示実施の可能性調査はなされたか。

**答弁** 目取真都市建設部参事 これまで地域からの要望や要請等がないことから、現在のところ実施していない。

**質問** 市はこの件に関して、前向きに取り組む姿勢があるか伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 実施後に住民各自にて変更を要する手続も多く、住民の皆様へ負担を伴うことから、住民の意向が重要であると考へており、再度地域の意見などを確認し検討する。

**三 企業誘致について**

**質問** 本市の国際物流拠点産業集積

地域に国内最大規模のバイオマス発電所を新設する方針であるとの報道があるが、この件について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 イーレックス株式会社が現地法人、沖縄うるまニューエナジー株式会社を設立し、中城バイオマス発電所として2021年7月末に営業運転を開始する予定である。

**質問** バイオマス発電所がもたらす本市への経済効果を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 中城バイオマス発電所の立地により、固定資産税の税収等に加え、雇用面での経済効果が期待できる。

**四 津堅沖パラシュート降下訓練について**

**質問** 津堅島沖でパラシュート降下訓練を強行し続ける現状について、市長の見解を伺う。

**答弁** 天願企画部長 当該訓練については、航空情報に接するたびに、直ちに口頭による中止の申し入れを米軍に行うように、沖縄防衛局に要請している。また、うるま市議会とともに書面においても、日米両政府や米軍などの関係機関に対し厳重に抗議し、強く要請している。

**質問** ことしのパラシュート降下訓練に対する市長の対応を伺う。

**答弁** 島袋市長 うるま市の長として、引き続き日米両政府に対しては、課題解決に向けてその都度訴えていく。



新政・公明  
かねもと みつはる  
兼本 光治

- 一 屋敷名土地区画整理事業について
- 二 与勝一周道路について
- 三 浜千鳥節の歌碑周辺整備について
- 四 あやはし館集客、整備状況について
- 五 与那城庁舎跡地の利用計画について

**一 屋敷名土地区画整理事業について**  
**質問** 平成24年度から5年間で経過している。進捗状況を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 施工区域約37ヘクタールが認可されている。平成30年度までに8,800万円の助成金を交付しており、平成30年度末に完了を予定している。

**質問** 土地区画整理事業が完成した後の人口増や税収効果について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 世帯数70戸、約170人の人口増を想定している。

**答弁** 仲本総務部長 概算で約212万8千円、大型店舗用地が約107万7千円になると考えている。

**質問** 大型店舗の建設について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 大型店舗は鉄骨造の一階建て、敷地面積が約8,143平方メートル。駐車台数130台程度で24時間営業を予定している。

**二 与勝一周道路について**

**質問** 与勝一周道路の現在の進捗状況を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 勝連平敷屋から勝連南風原までの約6・1キロの区間は事業化に向けた予備設計を実施。環境アセスメントも今年度から調査を進めていると伺っている。

**質問** 今後の事業について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 事業採択後は詳細設計、用地買収、工事と順次取り組まれると考えている。

**三 浜千鳥節の歌碑周辺整備について**

**質問** 浜千鳥節に携わる地元の方に苦情があるようだが、今後の計画を伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 地域自治会とも連携を図り、歌碑周辺の適切な維持・管理に努めたい。

**四 あやはし館集客、整備状況について**

**質問** 海の駅あやはし館は、築15年が経過し老朽化が進んでいる。館内・外の整備状況について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 関係部署と協議を行い、適切な対応を図りたい。

**五 与那城庁舎跡地の利用計画について**

**質問** 与那城庁舎跡地の利用計画について伺う。

**答弁** 天願企画部長 与那城庁舎の跡利用計画については、観光宿泊施設、ホテルを計画している。平成31年4月着工を予定しており、2020年6月のオープンを目指すと考えている。

**質問** 与那城庁舎の敷地内に新たな観光ホテル建設の情報があるが、市が持っている情報を伺う。

**答弁** 天願企画部長 敷地内庁舎右側広場に新たな宿泊施設、アネックス棟の建設が予定されており、2020年以降の計画で約2年間の工期が必要と伺っている。

**質問** 津堅島の過疎対策について

**質問** 津堅島に証明書自動交付機の設定が可能か伺う。

**答弁** 仲本総務部長 機器本体価格で約2,000万円。さらに証明発行サーバーに接続する環境整備が整っていないので、津堅島への設置は非常に厳しい状況である。

**質問** 窓口交付以外に郵送による交付の島民への周知について伺う。

**答弁** 仲本総務部長 郵送による交付やコンビニ交付を市のホームページに掲載しているが、津堅島の全世帯にチラシを配布する予定である。

**質問** 津堅小・中学校の学校運営とコミュニティ・スクールの導入について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 市民協働学校を導入することにより、学校教育の充実、地域の活性化が図られ、連携共同が深まると考えている。

**質問** 行政として、20代、30代の夫婦が島に戻ってくる対策や取り組みについて伺う。

**答弁** 天願企画部長 平成24年度から平成27年度に津堅島島おこし支援事業、平成28年度から3年間は地方創成補助金を活用した津堅島を含めた島しょ地域移住定住者向け情報整備事業を実施。また、WiFi環境の整備を行っている。

**三 うるま市防災避難訓練について**

**質問** 11月5日に防災避難訓練が行われたが、自衛隊を含めた実施訓練等は行っているか伺う。

**答弁** 天願企画部長 平成29年度には、陸上自衛隊勝連分屯地と訓練を実施したが、本年度は、日程が整わず実施には至らなかった。今後、海上自衛隊沖繩基地隊との訓練も検討したい。

**質問** 津堅島の過疎対策について

**二 与勝第二中学校の通学区再編について**

**質問** 通学区の見直し、再編について伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 与勝第二中学校の生徒数の減少は大きな課題である。今後は保護者や地域と対話し、総合的な検討を進める。

**質問** 与勝第二中学校から内間区向けの農道3036号線の市道格上げの進捗状況を伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 台帳を精査し所管が完了後、平成31年度に市道認定したい。



全生徒数100人を切った与勝第二中学校



新公明 真栄隆  
ま え し ろ たかし  
ま え し ろ たかし  
真栄隆

- 一 肺炎球菌ワクチンについて
- 二 待機児童について
- 三 広報紙の自治会配布について
- 四 伊波メンサーについて
- 五 「闘牛のまち」の具体的な取り組みについて

一 肺炎球菌ワクチンについて

**質問** うるま市における65歳以上の肺炎による死亡者数の過去5年間の推移と肺炎に要した医療費について伺う。

**答弁** 上門こども部長 肺炎は本市においてても死因の上位で推移している。定期予防接種が開始された平成26年度を基準に比較すると、肺炎に要する医療費の減少傾向が見られる。

**質問** わかりやすい表現で通知する必要があるかと思う。接種の意思のある方が、接種漏れのないよう配慮をお願いしたい。

**答弁** 上門こども部長 対象者にわかりやすい工夫を図ってまいりたい。

二 待機児童について

**質問** 保育士の週休二日制実現に向けた取り組みについて伺う。

**答弁** 上門こども部長 働きやすい職場環境づくりのため、保育士確保のため各施策を法人保育所と連携を図りながら継続的に実施し、人材確保に努めていく。今年度より市独自でも子育て支援員研修事業を行っている。今後とも保育士の就労環境の改善につながる施策を実施していく。

三 広報紙の自治会配布について

**質問** 広報うるま、うるま市議会だよりの両紙をまとめて自治会へ配布できないか。

**答弁** 天願企画部長 経費削減効果は薄いほか、入札仕様変更による影響など議論した結果、これまでと同様に各委託業者より自治会へ配布する方法が望ましい。

四 伊波メンサーについて

**質問** 現状と今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 宮城教育部長 ことしの6月19日に伊波メンサー織保存会が結成され普及活動が活発化し始めております。

**質問** メンサーグッズ販売オークションの提案に対する見解を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 まつり実行委員会もしくは事務局のほうに提案させていただきたい。

**質問** 国や県の文化財指定を目指す方針がありますでしょうか。

**答弁** 宮城教育部長 国または県指定に向け取り組んでまいりたい。

五 「闘牛のまち」の具体的な取り組みについて

**質問** 闘牛大会開催日以外でも観光客に来ていただくための闘牛博物館の建設を提案するが、見解を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 通年型の観光施設として闘牛博物館の可能性について検討する。



日本共産党 金城加奈  
きんじょう かな え  
金城加奈

- 一 雇用について
- 二 市道維持について
- 三 学校給食費無料化について

一 雇用について

**質問** 高齢者雇用に対してどのような施策をうるま市として考えているのか伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 高齢者雇用に関する施策の考え方は、意欲と能力がある限り年齢にかかわらず働くことが出来る生涯現役社会の実現に向けた社会、働きやすい職場づくりの実現だと考えており、ハローワークの充実や厚生労働省の生涯現役促進地域連携事業を検討している。今後、関係機関等と連携・調整を図り、高齢者雇用の施策の拡充に取り組みたい。

二 市道維持について

**質問** 市道州崎6179号線の水路沿いには、歩行者安全施設の転落防止柵が激しく腐食し、危険な状態である。今後の対策について伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 今年度より転落防止柵を更新し、一部は次年度以降に更新する。

三 学校給食費無料化について

**質問** 文部科学省は、平成30年7月27日、保護者負担とされる小・中学校の給食費への支援状況を調べる初の教育委員会調査の結果を公表した。2017年度に給食費を公立小・中学校ともに無償としていたのは76教育委員会、全体の4.4%。県では6教育委員会、14.6%。県内の実施状況を伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 平成30年9月現在で7市町村、17.1%である。

**質問** 国・県へ意見書を提出した県内市町村はあるのか。

**答弁** 盛小根指導部長 県から国への要請は行っていない。また、各市町村から県への要請もない。

**質問** 文部事務次官通達では、保護者の経済的負担の現状から、地方公共団体など、その他の者が児童の給食費の一部を補助するような場合を禁止する意図ではないと示されている。2016年度3月の内閣府経済財政会議諮問会議で、子育て世代の支援拡充として給食費の無料化が打ち出された。全国で国や県、市町村に対する学校給食費無料化の請願などが広がっている。市長会で、国に要請しているか。

**答弁** 盛小根指導部長 平成30年11月5日、九州市長会から関係府省等に学校給食費の公費負担無償化について要請している。

**質問** 市長会で国に要請決議すべきと考えるか。

**答弁** 島袋市長 九州市長会では保護者への教育費負担軽減のため公費負担、無償化を念頭に置いた財政処置を講ずるといふ、踏み込んだ内容になっていない。県市長会としては、次期定例会で諮ってみたい。全国地区的にはその要望がより高まっており、今後とも市としても取り組んでいきたい。

※その他「津堅港キャロット愛ランドマリンターミナル」他1件について質問しました。



希望の会  
よし 亮  
くに 吉

- 一 沖縄科学技術大学院大学に関連する事項について
- 二 沖縄科学技術大学院大学に関連する事項について
- 三 待機児童について
- 四 サンエー石川シティ周辺の環境整備について
- 五 サンエー石川シティ周辺の環境整備について
- 六 性的多様性の尊重について

一 沖縄科学技術大学院大学に関連する事項について

質問 国際的に卓越した科学技術に関する教育及び研究を行うOISTと本市との教育連携について伺う。

答弁 盛小根指導部長 今年度うるま市からは城前小学校が修学旅行の工程に組み入れ、世界最先端の施設や教育研究について学習した。

二 うるま市若者就業支援プログラムについて

質問 11の資格を無料で取得でき、1人当たりの給付額65万円を市が負担するプログラム。進捗状況について伺う。

答弁 佐久川経済部長 問い合わせは4件で、4件とも条件が合わない等の理由により、対象者は残念ながらありません。

三 待機児童について

質問 いつ待機児童ゼロが実現できるのか伺う。

答弁 上門こども部長 2020年4月の待機児童ゼロを目指し、取り組む。

四 サンエー石川シティ周辺の環境整備について

質問 県道255号線の交通渋滞が予想されるが、対策を伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 北側の方向から来店する車両に対しては、新たに右折車線を設置する予定である。

質問 市道116号線の石川中学校、たいら保育園への交通安全対策を伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 幅員が約6メートルで歩道がない道路となっているため、当該市道沿いの商業施設用地から、歩行者が通行できる空間として2メートル程度を提供していただく。

五 性的多様性の尊重について

質問 LGBT等の性的マイノリティへの理解が求められている。学校現場での児童・生徒への対応を伺う。

答弁 盛小根指導部長 道徳教育におきましては、相互理解や寛容や公正、公平、社会正義などの内容項目の指導を充実し、差別や偏見のない社会の実現に努めるなどの道徳的判断能力や態度を育んでいきたい。

六 いじめについて

質問 いじめ動画がアップされた場合、完全に削除することは無理だと考える。SNSによる被害の未然防止策を伺う。

答弁 盛小根指導部長 各学校の実態に応じて未然防止を図っているが、教育委員会や学校だけでは対応は限界がある。各家庭関係機関との連携を図り、ネット社会特有の問題から子供達を守っていききたい。



希望の会  
いは 洋  
伊波

- 一 公共施設行政について
- 二 保育行政について

一 公共施設行政について

質問 石川屋内運動場の使用制限はいつまでか。

答弁 佐久川経済部長 修繕及び建てかえ、廃止の判断を年度内に行い検討する。

質問 石川体育館機能強化事業の内容を伺う。

答弁 佐久川経済部長 快適に運動を行える環境を提供。交流拠点として検討したい。

質問 富祖橋の廃橋を、県河川管理道路の拡幅整備後にできないか。

答弁 島袋都市建設部長 県中部土木事務所と協議したところ、可能との回答があった。関係部署と協議し検討したい。

質問 廃橋まで市民が利用できるか。

答弁 島袋都市建設部長 可能と考えている。

質問 石川多目的ドーム周辺整備事業の進捗状況及び今後の予定を伺う。

答弁 佐久川経済部長 年度内に基本設計に取り組み、平成31年度内に経費、積算等予算規模を精査し実施設計につなげたい。

質問 石川インターチェンジ整備事業の進捗状況及び今後の予定を伺う。

答弁 佐久川経済部長 第2次うるま市総合計画、第2次うるま市観光振興ビジョンとあわせ、関連計画や調査報告書等の分析を平成29年度に行っており、観光客の動向やニーズ調査等を反映した概略イメージ策定、経済効果等の検証を実施。今年度内に事業の方向性を取りまとめる。

質問 石川市民の森公園整備の今後について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 再整備は厳しい。平成29年度に都市公園法が改正され民間事業者等を活用した都市公園の整備、管理ができるPFI制度が設けられた。PFI等の導入可能性調査を実施して検討したい。

質問 勝連城跡周辺整備事業の進捗状況及び今後の予定を伺う。

答弁 佐久川経済部長 今年度中に都市計画決定を行い、平成32年度からの事業開始を目指す。

質問 勝連城跡周辺整備事業の安定的な運営管理の考え方を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 民間事業者の経営ノウハウを活用できる指定管理者による管理を想定している。

一 保育行政について

質問 認定こども園事業について伺う。

答弁 上門こども部長 平成30年10月、市立幼稚園保育所の認定こども園等移行計画を策定。平成32年までに市立幼稚園を認定こども園に移行する計画である。

質問 3歳児から5歳児の保育の無償化等について伺う。

答弁 上門こども部長 平成31年10月から幼稚園、保育所、認定こども園の費用が無償化。ゼロ歳児から2歳児については、住民税非課税世帯を対象に無償化を進める。

※その他「行政委員会」外1件について質問しました。



希望の会  
みやぎ 宮城 一寿

- 一 人口減少に対する取り組みについて
- 二 人・農地プランについて
- 三 宮城島池味漁港について
- 四 平安座島について
- 五 行政全般について

一 人口減少に対する取り組みについて

質問 津堅及び彩橋小・中学校の児童・生徒の在籍減少対策について伺う。

答弁 盛小根指導部長 津堅小・中学校の児童・生徒数の減少対策として、子育て世代の移住や島外に住む島出身の孫ターン、地元郷友会の活動に期待している。彩橋小・中学校の児童・生徒の在籍減少対策については、小規模特認校制度導入で児童・生徒の確保と教育活動の充実を図りたい。

質問 津堅島の人口減少対策として市営住宅の建設を望むが行政の対応を伺う。

答弁 天願企画部長 市営住宅の必要性や住民のニーズを勘案し、空き家の有効活用に取り組み。

質問 島しょ地域フェアの取り組みについて伺う。

答弁 佐久川経済部長 地域の方々やイベント関係者、行政がイベントをとおして、島の未来像を描き、具現化していく方法を一緒に考える事が重要であり、検討したい。

二 人・農地プランについて

質問 農業委員会山口会長の新体制の決意を伺う。

答弁 山口農業委員会会長 農業委員、農地利用最適化推進委員が一体となって農地情報の収集、担い手の育成・確保に取り組んでいる。農地パトローラーを行い、担い手への農地を集め、農地の有効使用のサポートを行っている。

三 宮城島池味漁港について

質問 漁民が漁港を公平・公正に使用

するよう仲裁について伺う。

答弁 佐久川経済部長 漁港の公平・公正な使用については、与那城町漁業協同組合と話し合いの中で確認している。

四 平安座島について

質問 平安座島サングアチャアの市文化財指定について伺う。

答弁 宮城教育部長 平安座自治会からの要請が必要。地域から要請があれば文化財指定に向けて検討したい。

質問 280年前古墓群(トウダチ墓)解明調査支援について、補正予算を組んで県の文化財指定をしていただきたいが。

答弁 宮城教育部長 11月21日から24日まで調査が行われた。今回の調査報告を受けて検討したい。

五 行政全般について

質問 台風第24号・25号のライフライン復旧への取り組みについて伺う。

答弁 天願企画部長 市長が沖縄電力うるま支店長へ、今後このようなことがないよう方策を講じるよう強く要請した。

質問 石油企業との公害防止協定の取り組みについて伺う。

答弁 当間市民部長 年度内合意を目指す。

質問 津堅島の遊歩道整備及び工事について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 当面は維持管理費で補修。大規模な工事箇所については辺地対策事業債の活用など、関係部署と調整し進めたい。



希望の会  
なまか 名嘉 徳宜

- 一 昆布公園について
- 二 行政保険料について
- 三 米軍基地について
- 四 県民投票について

一 昆布公園について

質問 園路のゴムチップ舗装の劣化が進んでいる。当局の認識を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 園路のゴムチップ舗装面に損傷が多くあり、ウオーキングに支障がある。

質問 補修の必要性、今後の補修計画について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 専門業者へ発注し、年次的に補修を行っていく。

二 行政保険料について

質問 主な保険の種類を伺う。

答弁 仲本総務部長 業務全般を対象とした市民総合賠償補償保険、学校教育業務を対象とした学校災害賠償補償保険、公金に発生した事故による損害を補償する公金総合保険。予防接種業務を対象とした予防接種事故賠償補償保険。各課業務、事業内容に関連する多種多様な保険に加入している。

質問 年間の保険料の掛け金を伺う。

答弁 仲本総務部長 平成29年度決算で2,580万円である。

三 米軍基地について

質問 キャンプ・コートニーの米海兵隊第3海兵師団、戦闘強襲大隊が解散をして、キャンプ・シユワブの第4海兵隊に再編したという報道があるが、当局の認識を伺う。

答弁 天願企画部長 当該記事の内容

を沖繩防衛局に問い合わせたところ、詳細な情報がなく、米軍側に問い合わせるとの回答であった。

質問 うるま市在の米軍施設の整理・縮小について当局の考え方を伺う。

答弁 島袋市長 米軍基地に対する基本的なことは、基地の整理・縮小である。過重な基地負担は軽減すべきである。

四 県民投票について

質問 県民投票の意義、目的についてどのように捉えているか伺う。

答弁 仲本総務部長 県民投票条例の提案者は県である。意義や目的について、市として言及する立場にない。

質問 県民投票の実施に向けてどのように考えているか伺う。

答弁 仲本総務部長 市は事務移譲に係る県との協議で事務執行上の疑義が確認できたので、実施に向けた手続きとして必要経費を計上している。

質問 市長として、県民投票について、まとめて答弁を求め。

答弁 島袋市長 県民投票条例の意義や目的については、県が説明責任を果たすべきものと思う。県民投票条例は、地方自治法第74条第1項の規定に基づき、住民の直接請求により県議会

の審議を経て制定されており、その請求権は尊重されるべきである。市議会の審議の動向も踏まえ対応したい。



いぶきの会  
ひがしはま みつお  
東浜 光雄

- 一 勝連総合グラウンドの日差しよけ屋根の修復について
- 二 平敷屋タキノ（平敷屋公園）の管理体制の強化について
- 三 魅力ある青年会活動の育成について
- 四 児童・生徒の不登校対策について

一 勝連総合グラウンドの日差しよけ屋根の修復について

**質問** 勝連総合グラウンドの日差しよけ屋根が台風第24号の襲来でトタン屋根の部分が破壊され、全面撤去されているが、いつ修復する予定か。

**答弁** 宮城教育部長 次年度予算で早めに対応したい。

二 平敷屋タキノ（平敷屋公園）の管理体制の強化について

**質問** 平敷屋タキノは平敷屋朝敏が脇地頭として平敷屋村に寓居していたときにつくられた史跡で文化遺産として非常に付加価値が高い。しかし、管理体制が不十分でよい環境にない。十分な管理体制の強化を図り、本市の誇れる史跡として発信すべきと考ええるが。

**答弁** 島袋都市建設部長 公園維持管理予算も限られている。地域のボランティア活動団体が活用し管理していく公園里親制度を案内したい。

三 魅力ある青年会活動の育成について

**質問** 青年会活動は衰退の一途をたどり、活動に参加する青年が激減している。本市の未来をつくるのは若者、青年である。若者が活気に満ちあふれ、まちを牽引する役目として積極的に行動していくために、魅力ある青年会活動とは何か考えていく必要があるが。

一 勝連総合グラウンドの日差しよけ屋根の修復について

**答弁** 宮城教育部長 市青年連合会や地域青年会、青年会OBを含め引き続き連携をとりながら魅力ある青年会活動とは何かについてしっかり話し合うとともに地域とも連携し、青年会活動を支援していきたい。

二 児童・生徒の不登校対策について

**質問** 児童・生徒の不登校は年々増加の傾向にある。昨年、教育機会確保法が施行され、学校に行かなくてもいい流れが後押しされたことで、今後学校にかわる受け皿、居場所づくりの整備が求められてくると考えるが。

**答弁** 盛小根指導部長 自立性や社会性の育成と学校復帰を目的とする支援については、適応指導教室の取り組みの一層の充実を図っていく。他部署が実施している居場所づくり事業等の連携強化もあわせて行っていく。

青年センターでは就学等に向けた自立支援を図るため、NPO法人等を活用した新たな居場所づくり事業を展開し、不登校児童・生徒の受け皿の拡大と支援の充実を図っていく。小学校には特別支援教育に係る巡回相談員を、また青少年センターには臨床心理士を配置し新たな不登校を生まな

ため、の支援と組織の強化も同時に図りたい。



いぶきの会  
みやざと ちようせい  
宮里 朝盛

- 一 介護保険制度について
- 二 台風24号・25号被害状況と再生産農家に対する市の支援策について伺う

一 介護保険制度について

**質問** 介護保険改正と介護保険報酬改正後の現状を伺う。

**答弁** 上原福祉部長 介護保険サービス事業者に対する平成30年度の介護保険報酬改定は、全体枠で0.54%の増額となる。

**質問** 事業所の運営実態は。

**答弁** 上原福祉部長 市内事業者を対象とした集団指導を実施し、関係法令、関係基準等の共通認識が図れるよう努めている。

**質問** 事業所への市の支援策は。

**答弁** 上原福祉部長 介護職員の安定的な処遇改善を図るための環境整備と賃金改定に充てることを目的に、介護職員処遇改善加算取得に係る支援を昨年度から実施している。

**質問** 市内介護保険サービス事業者の種別は。

**答弁** 上原福祉部長 特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、訪問介護、通所介護、居宅介護支援、地域密着型認知症対応型通所介護（認知症デイ）などがある。

**質問** 介護保険サービス事業者の介護人材育成等の現状は。

**答弁** 上原福祉部長 関係機関等との連携を図り、指導等の場を活用し、介護人材の確保に関し注視したい。

二 台風24号・25号被害状況と再生産農家に対する市の支援策について伺う

産農家に対する市の支援策について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 特にサトウキビの被害が顕著であった。県やJAおきなわ等の関係機関と連携し、経営再建に向けた支援を行っている。農作物の推計被害額は合計で3,889万円。畜産関係の推計被害額は1,587万円。

**質問** 小菊生産農家の被害状況を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 暴風雨による倒木や曲がり、立ち枯れなどがある。停電でかん水設備が作動しなかったことによる塩害。3日間以上電照できなかったことによる品質低下。冷蔵庫で保管していた次期作苗が傷みなどの被害が発生した。

**質問** 生産農家に対する支援策を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 国の支援対策として共済金、保険金の早期支払いなど、幾つかの支援策が講じられている。市としては、国による支援対策事業の周知や罹災証明書等の早期発行に係る速やかな現地調査など経営再建に取り組まれる農家を支援している。

**質問** 農家への支援策の周知方法も工夫しては。

**答弁** 佐久川経済部長 台風被害に遭われた再生産農家の支援策等の周知を図っているが、一部には届いていない場合もあり、情報が届くように対応を図りたい。



新政・公明  
たくし  
たけし  
武  
くらね  
蔵根

- 一 島嶼地域におけるネット環境の整備について
- 二 学校施設のブロック塀の安全対策について
- 三 校務支援システムについての内容を伺う

一 島嶼地域におけるネット環境の整備について

**質問** 島嶼地域超高速ブロードバンド整備事業の実施時期と完了時期を伺う。

**答弁** 天願企画部長 平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島を対象に光ファイバーケーブルを利用したインターネットサービス提供を行う事業で、12月より幹線工事に着手し完了は31年3月初旬を予定。3月より光ファイバーインターネットサービス希望世帯への事前申し込みを受け付け、4月より順次家庭への引き込み工事を行い、インターネットサービスが利用できる予定である。

二 学校施設のブロック塀の安全対策について

**質問** 倒壊のおそれがあるブロック塀等の改修計画を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 未整備箇所は小・中学校及び幼稚園を含め、あと24カ所程度ある。

**質問** 彩橋小・中学校のブロック塀について、老朽化に伴うひび割れ等が見られる。改修工事や先行する工事の内容等を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 彩橋小・中学校のグラウンドを含む敷地境界周辺のブロック塀については、与那城18号線道路整備事業区間においては、道路から高さ平均50センチのコンクリート基礎擁壁の上にフェンスを設置することで協議している。平成31年度にグラウンド側の約150メートルを予定している。現在、彩橋小・中学校を含む平安座地内地区で実施している工事については、沖縄電力が施工する電気配線配管工事で、グラウンド側道路と反対の正門側道路部分の工事であり、市が施工する予定の時期には支障がなく、平成31年12月までの工事予定である。

三 校務支援システムについての内容を伺う

**質問** 平成30年度に市内小・中学校に導入される校務支援システムの内容を伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 学校の情報セキュリティの確保を図りつつ、教職員の校務の効率化、教職員の心理的負担の軽減等を図ることを目的に統合型校務支援システムの運用を30年度より市内全小・中学校で開始している。

**質問** 初年度ということもあり戸惑いの声も多くあると聞いている。教職員に対してのサポート体制を伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 支援体制については、教育委員会、導入業者、サポートセンターの三者間で連絡・調整を行い、教職員のサポートの充実に努めている。機器の操作等に関しては教育委員会のIT支援員を各学校へ派遣し対応している。



かけはし  
いさむ  
こう  
幸  
幸

- 一 上平良川区道路の今後の整備について
- 二 公園整備について
- 三 児童館建設について
- 四 うるま市の福祉関係について

一 上平良川区道路の今後の整備について

**質問** 昭和43年に都市計画が決定されたフェアリーから旧宮国ストアまでの平良川2区線について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 生活道路としての機能確保に向け、危険箇所への擁壁やガードレール等の設置、道路側溝の新設などを検討し、権利者等につきましては来年2月ごろに説明会を予定。

**質問** 旧交番跡地近くの市道105号線の一部拡張について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 車両の安全通行を図るため土地所有者である沖縄県と平成29年度から協議を進めており、交番跡地を市が無償で借り受け整備・管理する計画。

**質問** 上平良川公民館前の県道36号線について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 沖縄県中部土木事務所へ問い合わせたところ、交通安全事業として事業化に向け調整中で、未同意地権者の同意取りつけについては、市も積極的に協力していきたい。

二 公園整備について

**質問** 昭和43年に都市計画された上江洲パンタ公園整備について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 今年度中に基本計画を作成する予定で、現在委託業務を発注し、他公園事業の進捗状況や財政状況を勘案しながら事業化の可能性について検討したい。

三 児童館建設について

**質問** 復帰記念会館跡地への児童館建設について伺う。

設について伺う。

**答弁** 上門こども部長 中学校区を単位として未整備箇所の整備を目指しているが、施設整備に当たり財政的に大きな課題がある。既存の公共施設等を活用し、ソフト施策活用による児童館機能の導入について今後も検討したい。

**質問** 復帰記念会館跡地については今後跡利用があるのか伺う。

**答弁** 天願企画部長 現在のところ具体的な跡利用計画はない。今後は貴重な財産であることから、再度各課の意見を確認するとともに民間の資金や経営能力、技術を含めた跡利用計画に取り組む必要がある。

四 うるま市の福祉関係について

**質問** 平成29年度福祉関係予算(国民健康保険特別会計と介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計も含む)は、うるま市全体の何%かを伺う。

**答弁** 上原福祉部長 合計約589億4千万円となり、平成29年度うるま市決算額約892億3千万円の約66%を占めている。

**質問** そのうち市民に係る予算(扶助費や特別会計の保険給付費の決算額)は全体の何%かを伺う。

**答弁** 上原福祉部長 合計約331億円となり、全体に対して約37%となっている。

※その他「うるま市の未来に向けて動く課(未来つくる課)の創設について」質問しました。



いぶきの会  
なかにほど 仲 程 孝

- 一 赤道区内希望の広場遊具交換事業について
- 二 具志川メインシティ入り口交差点への信号機設置について
- 三 中学校制服への氏名刺しゅうについて
- 四 与勝緑が丘中学校運動場整備に関連する事項について
- 五 子供の貧困対策に関連する様々な施策について

一 赤道区内希望の広場遊具交換事業について

質問 事業の一環として本工期内に金網フェンスを撤去することが可能か。

答弁 島袋都市建設部長 フェンスは撤去する。

二 具志川メインシティ入り口交差点への信号機設置について

質問 市民の安全確保のためにも当局が先頭に立ち、関係機関と連携・協議を行い、いま一度店舗側からの交差点に信号機設置を要請できないか。

答弁 当間市民部長 今後地域からの要請があった場合、うるま警察署へ地域の現状を伝えるべく再度の進達をしたい。

質問 過去に事例はあるが、現在は事業所敷地内から公道に向けての信号機は廃止・縮小の方向にあり、国レベルの法律改正等がない限り信号機設置は難しいと理解した。当局、地域事業所が連携した、交差点の安全性確保の今後の方策は。

答弁 当間市民部長 現時点において解決策はない。地域からの要請をもとに粘り強く警察署への進達を行っていく。

三 中学校制服への氏名刺しゅうについて

質問 防犯上の観点や、生活の厳しい家庭への支援にもつながるリサイクル等を考慮した場合、中学校制服への氏名刺しゅうの廃止を検討すべきでは。

答弁 盛小根指導部長 教育上の効果

果や生徒指導上の効果もある。防犯上の課題やリサイクルともかかわる課題については学校と連携したい。

質問 現場の教職員や保護者の皆様と氏名刺しゅうのあり方について意見交換する場を設けるべきでは。

答弁 盛小根指導部長 PTAや教職員と氏名刺しゅうについて意見交換を行い、教育効果や防犯効果及びリサイクル問題を考慮した上で共通理解を図るよう、校長会や教頭会を通して学校に依頼したい。

四 与勝緑が丘中学校運動場整備に関連する事項について

質問 運動場整備事業により、体育の授業や部活動に不便を来している学校側から近隣の市立体育施設の共同使用の要望があったと思料する約9割の生徒がうるま市在住であることにも鑑み、配慮すべきでは。

答弁 宮城教育部長 他の団体等の使用状況も確認しながら、市の体育施設の使用料金の減額または全額を免除した使用を認めている。

五 子供の貧困対策に関連する様々な施策について

質問 内閣府は沖繩子供の貧困対策針を示しており、今後、市の財政負担がふえることになる。今後の事業の進め方について伺う。

答弁 上門こども部長 本市の財政状況を勘案しつつ、こどもゆめ基金を活用しながら、当面既存事業は現状の規模を維持したい。



かけはし  
ひが 直人 比嘉

- 一 台風第24号による施設の被害について
- 二 中城湾港企業誘致について
- 三 勝連城跡周辺文化観光拠点整備について

一 台風第24号による施設の被害について

質問 与那城多種目球技場及び石川野球場の被害状況について伺う。

答弁 佐久川経済部長 与那城多種目球技場は、バックネットと両翼フェンスの被害、石川野球場はバックネットの倒壊と黒土の流出による下地部分

が露出し、使用は難しい状況である。

質問 修繕スケジュールとバックネットの施工方法について伺う。

答弁 佐久川経済部長 修繕は、予算の流用または予備費の充用で対応可能なものは、年度内での復旧が可能と考えている。施工方法については、安全面、耐久性、耐用年数を最大限考慮した工法を採用したいと考えている。

質問 供用開始について伺う。

答弁 佐久川経済部長 石川野球場は、来年2月の供用開始を目標に準備を進めている。与那城多種目球技場も、年度内の復旧に向け最大限努める。

二 中城湾港企業誘致について

質問 RESSAS（地域経済分析システム）を活用した目的について伺う。

答弁 佐久川経済部長 合併から10年が経過し、これまで実施してきた産業振興策について効果検証を行い、市の経済動向の推移等を把握・推察することで将来を見据えた効果的かつ効果的な産業振興策の策定に繋げることを

目的に実施した。

質問 分析結果と今後の取り組みについて伺う。

答弁 佐久川経済部長 企業立地の増加、雇用創出の効果がでてきている一方、労働生産性及び付加価値額の高い業種を十分に誘致できていない。また、一人当たりの市民所得についても、企業誘致の効果が十分でないことが分かった。RESSASの分析結果を踏まえ、平成28年に市産業振興計画を策定し、さまざまな産業施策に取り組んでいる。

三 勝連城跡周辺文化観光拠点整備について

質問 本事業の位置づけについて伺う。

答弁 島袋都市建設部長 本事業は、勝連城跡一帯を市の文化観光の拠点として位置づけ、文化観光の振興を通して地域経済の活性化に貢献するとともに、本市の課題である素通り観光から滞在型観光への転換を図る事業である。

質問 進捗状況と今後の計画について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 重要施設である歴史文化施設と観光タミナルは、平成33年度供用開始に向け順調に進んでいる。勝連城跡公園整備は、今年度中に都市計画決定を行い、平成32年度からの事業開始を目指している。



かけはし せいごう 國場 正剛

一 安慶名再開発の現状及び進捗状況について

三 あげな小学校グラウンド整備について

- 一 安慶名再開発の現状及び進捗状況について
- 二 あげな小学校校舎全面建てかえについて
- 三 あげな小学校グラウンド整備について
- 四 うるま市における障害者雇用について

質問 工事期間について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 安慶名土地画整理事業については、平成15年6月25日付で沖縄県知事の事業計画認可を受け、平成32年度までの事業期間となっている。

質問 安慶名3区線に接する部分の道路、歩道の整備について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 電線地中化とあわせて歩道拡幅工事を進めている。

質問 整備後の企業誘致について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 土地所有者である地権者等の意向により土地利用がなされていくと考えている。

二 あげな小学校校舎全面建てかえについて

質問 校舎の全面建てかえについて伺う。

答弁 宮城教育部長 昭和57年以降の新耐震基準で設計されていることから、耐震改修計画には含まれていない。

質問 校舎コンクリートの剥離後の安全対策について伺う。

答弁 宮城教育部長 業者へ依頼し、対処している。その後、亀裂の進行はない。

一 公園整備事業について

質問 スーリ川公園の整備及び進捗状況について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 平成22年度に基本設計を行い、平成23年度に事業認可を受け実施設計に着手し、現時点での事業完了は、平成34年度予定である。

質問 用地物件数及び補償業務の進捗状況を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 用地取得予定109筆中、現在72筆を取得しており、進捗率は66.1%である。また物件等移転補償については87件中、現在43件の物件補償が完了している。進捗率は49.5%である。

質問 予算配分状況について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 沖縄振興公共投資交付金を充当しているが、要望額の40%程度しか配分されていない現状である。

二 働き方改革関連法について

質問 市内企業への周知について伺う。

答弁 佐久川経済部長 沖縄県は、専門家によるアドバイザー派遣を行っており、市においては、広報うるま、ホームページ、フェイスブック、LINE等を活用するとともに、市内関係団体に周知する予定である。

質問 罰則規定について伺う。

答弁 佐久川経済部長 規定に違反した場合、労働基準法第32条労働時間に関する罰則6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金に該当する。

質問 市の職員にも働き方改革が適用されるのか。

答弁 仲本総務部長 働き方改革関連法は、民間企業に適用される。

三 待機児童対策について

質問 平成31年度の受け入れ数及び無償化について伺う。

答弁 上門こども部長 待機児童の多いゼロ歳から2歳児を中心に保育所整備を実施。開所及び開所予定は創設園4園、分園2園、増改築1園、小規模保育事業所7園であり、約680人の定員増となる。平成31年4月に市立幼稚園から認定こども園に移行する2園を含めると約800人の定員増が図られる。平成30年4月1日の定員数は約3,850人で、弾力運用を行い約4,000人の児童を受け入れられている。平成31年4月の保育所受け入れ数は約4,800人となる。

四 公共工事について

質問 積算根拠について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 県が毎年4月、7月、10月、1月に公表する単価を採用。そのほかは一般財団法人建設物価調査会の単価や、同財団法人に価格調査を委託する方法、また必要に応じて資材メーカーより見積もりを徴取している。



かけはし まさと なかむら 中村 正人

一 公園整備事業について

質問 スーリ川公園の整備及び進捗状況について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 平成22年度に基本設計を行い、平成23年度に事業認可を受け実施設計に着手し、現時点での事業完了は、平成34年度予定である。

質問 用地物件数及び補償業務の進捗状況を伺う。

答弁 島袋都市建設部長 用地取得予定109筆中、現在72筆を取得しており、進捗率は66.1%である。また物件等移転補償については87件中、現在43件の物件補償が完了している。進捗率は49.5%である。

質問 予算配分状況について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 沖縄振興公共投資交付金を充当しているが、要望額の40%程度しか配分されていない現状である。

二 働き方改革関連法について

質問 市内企業への周知について伺う。

答弁 佐久川経済部長 沖縄県は、専門家によるアドバイザー派遣を行っており、市においては、広報うるま、ホームページ、フェイスブック、LINE等を活用するとともに、市内関係団体に周知する予定である。

質問 罰則規定について伺う。

答弁 佐久川経済部長 規定に違反した場合、労働基準法第32条労働時間に関する罰則6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金に該当する。

質問 市の職員にも働き方改革が適用されるのか。

答弁 仲本総務部長 働き方改革関連法は、民間企業に適用される。

三 待機児童対策について

質問 平成31年度の受け入れ数及び無償化について伺う。

答弁 上門こども部長 待機児童の多いゼロ歳から2歳児を中心に保育所整備を実施。開所及び開所予定は創設園4園、分園2園、増改築1園、小規模保育事業所7園であり、約680人の定員増となる。平成31年4月に市立幼稚園から認定こども園に移行する2園を含めると約800人の定員増が図られる。平成30年4月1日の定員数は約3,850人で、弾力運用を行い約4,000人の児童を受け入れられている。平成31年4月の保育所受け入れ数は約4,800人となる。

四 公共工事について

質問 積算根拠について伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 県が毎年4月、7月、10月、1月に公表する単価を採用。そのほかは一般財団法人建設物価調査会の単価や、同財団法人に価格調査を委託する方法、また必要に応じて資材メーカーより見積もりを徴取している。



新政・公明  
おや せい ぜん  
大屋 政 善

- 一 宮城島コミュニティ防災センター整備について
- 二 農業振興について
- 三 公園整備等について

一 宮城島コミュニティ防災センター整備について

質問 コミュニティ防災センターの完成予定について伺う。

答弁 当間市民部長 コミュニティ防災センター施設本体は、来年度末までには完了する見通しで、外構工事は一部平成32年度に繰り越す予定としており、施設の供用開始は平成32年度を見込んでいます。

二 農業振興について

質問 可動式補虫装置の設置補助にセイフティネット基金を活用できないか。

答弁 佐久川経済部長 セーフティネット基金の対象にはならないと思うが、調査・研究してどのような対応ができるか検討したい。

質問 伊計平良川線は上原土地改良区内を通過する計画であるが、改良区内の防風林は計画道路の支障になるか。

答弁 目取真都市建設部参事 県中部土木事務所に問い合わせたところ、当区間の道路計画については現在見直し中であり、防風林には影響のない線形となるよう道路修正設計を行う予定と伺っている。

質問 当該県道は、シヌグ堂遺跡に隣接した高離節歌碑周辺を通ると思われるが、県道整備とあわせてシヌグ堂パークとして整備してもらいたいとの地元の方

要望があるが、市の考えを伺う。

答弁 目取真都市建設部参事 今後、当該県道の整備とあわせてシヌグ堂周辺の整備についても検討したい。



2002年、平敷屋朝敏の妻貞亀が詠んだとされる琉歌の碑が建立された

三 公園整備等について

質問 市内の公園にはベンチが少なく、高齢者が休憩する場所に困っているとよく耳にするが、市の対応について伺う。

答弁 島袋都市建設部長 ベンチ設置の要請があれば、その必要性や優先度などを検討して対応したい。

質問 十年過ぎても事業化のめどがたかないのに公園指定を継続する場合は、地主の考えを確認する必要があるか。

答弁 目取真都市建設部参事 うるま市公園整備プログラムに沿って公園区域の縮小や廃止など、整備方針の検討に取り組んでいるところである。方針が決まれば関係地権者へ説明したい。

一 教育環境の整備について

質問 具志川東中学校校舎の改築工事の計画と時期について伺う。

答弁 宮城教育部長 築35年が経過し老朽化等も見られることから、今年度中に耐力度調査を行い、その結果に基づいて大規模改修や改築等の計画を検討したい。

質問 運動場の表土が風雨等により流され、体育の授業や部活動に支障があるとの事ですが、その対策について伺う。

答弁 宮城教育部長 現在学校側と整備に向けて調整している。今後の天気の状態を見ながら早急に対応したい。

二 農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシエ)に関連する事項について

質問 現在の契約生産農家及び出店業者数について、市内、市外の割合も含めて伺う。

答弁 佐久川経済部長 農家総数は571人で、そのうち市内334人、市外237人、加工品出荷業者総数は349社で、そのうち市内115社、市外234社となっている。

質問 オープンから1カ月の客単価及び農産物の委託販売額と仕入れ販売額の割合、産地の市内、市外、県外の割合について伺う。

答弁 佐久川経済部長 直売所の1カ



無所属  
てん かん ひさ し  
天願 久史

- 一 教育環境の整備について
- 二 農水産業振興戦略拠点施設(うるマルシエ)に関連する事項について

月の客単価は約1,300円、農産物の販売総額は3,600万円、そのうち委託販売額1,800万円、仕入れ販売額1,800万円、割合は同率、産地の割合は市内25%、市外で中部地区内25%、それ以外の県内20%、県外30%の割合となっている。オープン当初は農産物の端境期や台風の影響等によりやむを得ず市外出荷物で補っていた状況である。



うるマルシエは、「食」を通じて市全体を「元気」にする複合型施設です

質問 台風災害への支援策、対策、それを指揮、指導する営農指導員の配置について伺う。

答弁 佐久川経済部長 災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業や、がんばる農業を応援します事業を実施、営農指導員の配置はなるべく早い時期に配置するよう、指定管理者と協議する。

※その他「具志川小学校裏門通学路の歩道設置」「防犯灯、道路照明灯」に関連する事項について質問しました。



新行政 公明 下門 勝

一 認定子ども園及び幼児教育・保育の無償化等  
二 子育て支援及び貧困対策等について

一 認定子ども園及び幼児教育・保育の無償化等について

質問 認定子ども園は1号認定児童よりも2号認定児童の利用時間が長いため、2号認定児童の増加が予想されるが対策を伺う。

答弁 上門子ども部長 御指摘の通り2号認定がふえることで、さらに保育教諭の確保が必要になる。認定子ども園運営予定の事業者に対し給付加算の対象となる学級編成加算や3歳児加配改善加算などを活用し、フリー保育教諭を確保するよう事前に周知している。

質問 認定子ども園では、幼保連携型認定子ども園教育保育要領、平成26年内閣府文部科学省厚生労働省告示第1号に基づき各園において食育計画を策定し、教育・保育活動の一環として計画的に食育を行うとある。そこで重要テーマである食事提供の考えを伺う。

答弁 上門子ども部長 公営の場合、他市町村はケータリングや給食センターからの提供で、アレルギー対応や夏休みなどの給食提供に課題がある。民営の場合はケータリングや自園調理、運営法人保育所から搬入等しているが、それぞれ課題等もある。今後は安定的で安心・安全な食の提供と食育の観点から、調理室の増築など環境整備を検討する必要がある。

質問 子供のうちに健全な食生活を確

立することは、生涯にわたり健全な心身を培い、豊かな人間性を育ていく基礎となると考えている。食育の基礎を形成する場所である認定子ども園において、さらに充実した食育を実施するため、自園調理を含む食の提供のあり方について、当局はしっかりと取り組む必要があると考えるが、所見を伺う。

答弁 上門子ども部長 幼稚園施設は調理室がなく、食育を進める上で創意工夫が必要となり市としても、全ての3歳から5歳児の子供たちへ、自園調理を含む食育環境を提供できるように国などの補助メニューを含めた施策を検討したい。

一 子育て支援及び貧困対策等について

質問 子どもの居場所づくりの空白地帯を埋めるため、勝連シビックセンター調理場や和室を有効活用し、子ども食堂としての活用が可能か伺う。

答弁 上門子ども部長 所管する部署と協議しながら、可能な範囲で積極的に検討したい。

答弁 宮城教育部長 通常の公民館業務に配慮しつつ、積極的に協力したい。

※その他「消防・防災・災害等の対策」外3件について質問しました。



新行政 公明 喜屋武 力

一 農水産業振興戦略拠点施設うるマルシエについて  
二 うるま市景観条例について  
三 浜比嘉島の浜漁港の整備について  
四 今年度の台風被害について  
五 中城湾港の開港（今後の市と県との調整）について  
六 江洲グスク跡公園について  
七 高江洲中学校校舎、中原幼稚園園舎の改築について

一 農水産業振興戦略拠点施設うるマルシエについて

質問 運営状況と買い物客数、市内農産物の納入者数等を伺う。

答弁 佐久川経済部長 単純換算で、一日当たり1,375人が直売所で購入。計画上の年間集客者数は69万人。二日当たり1,890人の集客を見込む。売り上げは好調で、市内の農産物の出荷契約者数は、現時点で334人である。

質問 客をとどめるため、施設内で楽しめるような改善ができないか。

答弁 佐久川経済部長 各種団体等と連携し、地域性の高いイベントの開催を検討中。

質問 健康支援事業に会場を開放することで、人を集め買い物してもらえないのでは。

答弁 佐久川経済部長 食を通じ、市を元気にする理念と連動した有益な取り組みも期待できる。関係部署と協議調整したい。

一 うるま市景観条例について

質問 健康支援事業に会場を開放することで、人を集め買い物してもらえないのでは。

答弁 佐久川経済部長 食を通じ、市を元気にする理念と連動した有益な取り組みも期待できる。関係部署と協議調整したい。

二 今年度の台風被害について

質問 台風被害等により緊急を要する道路や建物の補修等の業者選定は、課長決裁等で素早く対応できないか。

答弁 島袋都市建設部長 契約規則にのっとり執行したい。

三 中城湾港の開港（今後の市と県との調整）について

質問 中城湾港で働く技術者や免許取得者の育成について伺う。

答弁 佐久川経済部長 沖縄産業開発青年協会などの関係機関と連携して、資格取得に向けた技術講習等を検討する。

四 江洲グスク跡公園について

質問 江洲グスク跡公園はいつ計画案が実施されるのか。

答弁 目取真都市建設部参事 ヌーリ川公園整備事業の完了後に、事業化について市の財政状況や他の公園事業の進捗状況などを考慮し検討する。

五 高江洲中学校校舎、中原幼稚園園舎の改築について

質問 高江洲中学校を早目に改築できないか。

答弁 宮城教育部長 学校施設長寿命化計画の策定後に大規模な増改築や建てかえ等の判断を行う必要がある。



津梁 平良 順 榮

- 一 河川環境行政について
- 二 水産行政について
- 三 耕畜連携した農畜産行政について

一 河川環境行政について

**質問** 天願川旧河川管理道路の整備について伺う。

**答弁** 目取真都市建設部参事 現在のところ整備計画はない。対応は厳しい。

**質問** 天願橋下流右岸側から倒木2本、河川工事で使用したと思われる大きい土のう袋が川の真ん中にある。片づけていただきたい。

**答弁** 目取真都市建設部参事 河川の拡幅工事を行っている業者に対応するよう手配したいとのこと。

二 水産行政について

**質問** 本市の養殖漁業の現状を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 勝連漁協では、モズク、与那城町漁協では、シラヒゲウニ、ヤイトハタ、タイ、モズク、海ブドウ等、石川漁協では、試験的にポルトガルガキの養殖を行っている。

**質問** ポルトガルガキはうるま市に自生するカキで、本市の養殖漁業の品目として申し分ない。当局の考えを伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 地域ブランド化を推進しており、漁業者の所得向上につながるポルトガルガキの養殖には期待している。

三 耕畜連携した農畜産行政について

**質問** 牛ふんの堆肥化システムについて伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 今年度より、耕畜連携総合整備事業に着手しており、家畜ふん尿の堆肥化による耕種農家への還元に向け、持続可能な耕畜連携システムの構築に取り組んでいる。

三 耕畜連携した農畜産行政について

**質問** 牛ふんの堆肥化システムについて伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 今年度より、耕畜連携総合整備事業に着手しており、家畜ふん尿の堆肥化による耕種農家への還元に向け、持続可能な耕畜連携システムの構築に取り組んでいる。

**質問** 畜産農家の負担、農家を取り組むこと等について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律の遵守、施設の構造に関する基準と管理の方法に関する基準の遵守が必要不可欠と認識する。

二 畜産行政について

**質問** 環境保全型農業の推進について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 耕種農業と畜産業がともに活性化することが前提と考えており、必要な農業振興施策を展開しながら関係者が一体となった取り組みが必要である。

**質問** ヤギ生産振興について、ヤギの耐性菌とは何か。また、その対処策を伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 病原微生物が薬剤や抗生物質に強い抵抗性を獲得したもので、ヤギに関しては捻転胃虫という寄生虫が貧血や体重減少を引き起こす。栄養良好なヤギは感染しても発症しないため、飼育管理を適切に行う事で予防できるとのこと。

三 その他「スポーツ行政について」質問しました。

※その他「スポーツ行政について」質問しました。



新政・公明 さくだ さとし 佐久田 悟

- 一 うるま市公共施設等の修繕・整備状況と取り組みについて
- 二 「地域防災力の強化」と「地域防災コミュニケーション構築」へ向けた防災計画と取り組みについて
- 三 介護職人材確保支援の現状・取り組みについて

一 うるま市公共施設等の修繕・整備状況と取り組みについて

**質問** 台風による具志川運動公園内スケートボード場の照明被害について、迅速な修繕対応を要請したが、現状を伺う。

**答弁** 宮城教育部長 照明器具や高所作業機械のリースが遅れ、修繕が完了したのは12月6日で、迅速な対応ができず、おわび申し上げます。

**質問** 指定管理制度について、市関係部局と指定管理者との連携、指導・監督の対応について伺う。

**答弁** 佐久川経済部長 施設管理の最終的な管理・監督責任は市にあり、基本協定及び年度協定締結前にしっかりと協議を行い、トラブル等を未然に防ぐべく取り組みたい。

二 「地域防災力の強化」と「地域防災コミュニケーション構築」へ向けた防災計画と取り組みについて

**質問** 大雨、豪雨、高潮災害時の避難行動につながるわかりやすい情報提供への取り組み、検証と課題、改善策について伺う。

**答弁** 天願企画部長 きめ細やかな情報提供や避難準備情報等、語句の説明の周知等を徹底し、市民の皆様が正しく判断できるよう啓蒙したい。

**質問** 台風による与那城総合公園野外ステージの屋根の修繕計画等について伺う。

**答弁** 島袋都市建設部長 屋根の構造や材質について、本年度中に検討し、事業費を調整し、次年度復旧に向けて取り組みたい。

三 介護職人材確保支援の現状・取り組みについて

**質問** 介護現場での職場環境改善に向けて、行政の力強い支援が必要だと考えるが。

**答弁** 上原福祉部長 介護職員処遇改善加算取得に係る支援を実施し、同業者同士のコミュニケーションを図る研究会、懇話会、連絡会等の立ち上げにも、行政として積極的にかかわりたい。

二 「地域防災力の強化」と「地域防災コミュニケーション構築」へ向けた防災計画と取り組みについて

**質問** 停電を想定した防災訓練の実施、沖縄電力等ライフライン事業者との連絡取り組みについて伺う。

**答弁** 天願企画部長 今後、沖縄電力との連携を密にして情報共有を行うことを確認した。

**質問** 沖縄県石油コンビナート等防災計画の見直しの中で、与那城公民館を避難場所として指定することについて伺う。

**答弁** 天願企画部長 平成30年1月幹事会で審議され、平成30年3月の本部会議で、一時避難場所として与那城公民館などが決定された。

三 介護職人材確保支援の現状・取り組みについて

**質問** 地域と行政との連携に必要な防災計画策定には、女性の声、障がい者の声、職員の配置等も重要だと思いが。

**答弁** 天願企画部長 次年度以降、地域防災計画の改定では女性職員を参画させ、避難行動要支援者や障がい者等災害弱者支援もあわせて当該計画に反映させたい。

**質問** 介護現場での職場環境改善に向けて、行政の力強い支援が必要だと考えるが。

**答弁** 上原福祉部長 介護職員処遇改善加算取得に係る支援を実施し、同業者同士のコミュニケーションを図る研究会、懇話会、連絡会等の立ち上げにも、行政として積極的にかかわりたい。

三 その他「犬・猫の適正飼養と各行政機関の役割と連携」について質問しました。

※その他「犬・猫の適正飼養と各行政機関の役割と連携」について質問しました。



いぶきの会  
のりひさ  
またよ吉 又吉 法尚

- 一 うるま市幼稚園、小・中学校クローラー整備及び危険ブロック塀対策について
- 二 男女混合名簿導入後の検証と小学校午前5時間制授業の導入について
- 三 学校給食費の改定について

**一** うるま市幼稚園、小・中学校クローラー整備及び危険ブロック塀対策について

**質問** 現在クローラーが故障し、正常に稼働ができていない中学校3校、小学校5校の修繕について伺う。

**答弁** 宮城教育部長 現時点での故障箇所について、保守点検業者と連携をとり、可能な限り次年度稼働時期までに間に合うよう整備に取り組み。

**質問** あげな中学校では2階の各教室のクローラーが故障し授業に支障を来した。次年度に向けて大がかりな工事が無理なら、各教室単位のクローラー設置ができないか。

**答弁** 宮城教育部長 2階フロアについては教室系統の空調が稼働していないため、各教室に個別クローラーの設置を計画している。

**二** 男女混合名簿導入後の検証と小学校午前5時間制授業の導入について

**質問** 小学校午前5時間、午後1時間制について、1単位時間を40分間とし、午前中に5単位時間の学習を行う。また、登校時刻が5分早くなり、早寝・早起・朝ごはんの生活習慣が確立している東京都目黒区では、今年で導入17年目を迎え、昨年度からは文部科学省から調査・研究委託を受けている。良い施策はうるま市でも早速取り入れるべきだと考えるが。

**答弁** 盛小根指導部長 小学校における

る午前5時間制については、授業時数の確保など一定の効果が期待できると言われているが、現時点では導入の検討に至っていない。

**三** 学校給食費の改定について

**質問** 平成31年4月から給食費の値上げに至った経緯及び小・中学校ともに500円ずつ値上がりするが、その根拠を伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 米飯、牛乳などさまざまな食材価格の高騰により、現在の給食費では栄養価を十分に満たした献立の作成が厳しい状況である。小・中学校とも月額500円の改定値上げとなっている。

**質問** うるま市は小・中学校ともに県内最高額の給食費となっている。昨年の所得ランキングで同等の糸満市と同額の小学校4,300円、中学校4,800円と、今年度より300円ずつの値上げにすれば、保護者もある程度納得をし、理解を示すと私は考える。当局の考え方を伺う。

**答弁** 盛小根指導部長 糸満市の給食費と同額にすることについて検討した結果、厳しいと考えている。安全・安心でおいしい学校給食を提供するためには、今回の改定月額が必要である。

※その他「台風第24号・25号の被害外3件について質問しました。」

**津堅島訓練場水域におけるパラシュート降下訓練の中止を求める意見書及び抗議決議の要請事項**

- 1 津堅島訓練場水域でのパラシュート降下訓練を一切行わないこと。
- 2 日米合同委員会において「津堅島訓練場水域ではパラシュート降下訓練を行わない」ことを決定し、明記すること。
- 3 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

**すべての沖縄の子供たちの健やかな成長のためにこども医療費助成に係る国の制度化を求める意見書の要請事項**

- 1 こども医療費助成制度を現物給付にした市町村に対する国民健康保険の国庫補助金の削減(ペナルティ-)をすべて廃止すること。
- 2 子供の医療を受ける権利を保障するため、国の制度として中学校卒業まで、医療費無料制度を早期に実現すること。

**すべての沖縄の子供たちの健やかな成長のためにこども医療費助成制度の拡充を求める意見書の要請事項**

- 1 こども医療費助成制度を現物給付にした市町村に対する国民健康保険の国庫補助金の削減(ペナルティ-)をすべて廃止するよう国に強く求めること。
- 2 出生から中学校卒業までの子供を対象とした医療費無料制度を国の制度として、早期に実現するよう国に求めること。
- 3 国の制度化が実現するまで、県の制度として、中学校卒業まで、所得制限なし、一部負担なし、現物給付で医療費無料制度の拡大拡充を早期に実現すること。

※意見書及び抗議決議については、紙面の都合上、要請事項のみを掲載しました。(詳しくは、市ホームページをご覧ください。)

## うるま市議会広報研修会



1月22日、わかりやすく読みやすい議会だよりを発行するため広報コンサルタントの芳野政明先生をお迎えし『議会の存在感を高め 住民との関係性を築く』と題して、議会広報の意義や役割などをご講義いただいた。

## 中部市議会議長会議員・事務局職員研修会



1月25日、沖縄市民会館中ホールにおいて沖縄バスケットボール株式会社の木村達郎社長を講師に迎え、バスケがプロスポーツとして成り立つことを証明し、企業理念と事業の本質、ビジョンの根底にある熱い想いを語っていただいた。

## 議会傍聴を大歓迎



議場の案内図

議会傍聴の際には、議場傍聴席入口(5F)で受付してから入場してください。本会議は午前10時より開会します。市民の皆様は、議会の傍聴を歓迎いたします。

## 平成30年度市議会議員・職員研修会

11月21日、糸満市(NBCサムシング・フォー西崎)で開催された研修会では、『地方(沖縄)議会から日本を変える』と題して、講師に早稲田大学名誉教授 北川正恭氏を迎え、経済の中央集権やマニフェスト大賞などのキーワードをもとに、講師の体験談など多くの事例を交えた説明があり、チーム議会(市議会議員+議会事務局)の重要性や取り組み方などを学びました。

## 市議会の活動をチェックしてみよう

### 【主な検索方法】

- ① 検索サイトから検索する方法。
- ② スマートフォンなどから検索する方法。  
 市議会だよりの表紙に掲載したQRコードを読み取るか、アドレスを直接入力する。
- ③ うるま市のホームページから検索する方法。  
**【行政情報を見る】** → **【市政・財政・議会・選挙・基地・監査・人事・市の紹介等】** → **【うるま市議会】** を選ぶ。

### 【本会議のライブ・録画中継】

情報提供及び利便性の向上を図るため、インターネットによるライブ中継及び録画中継を実施しております。



録画中継の配信は、当該本会議終了後1週間以内に配信する予定です。

[ライブ中継を見る](#) (外部リンク)

[録画中継を見る](#) (外部リンク)

## 編集後記

平成31年1月22日、市議会議員を対象とした広報研修会があり、市民に読んでもらうための広報紙づくりを再確認しました。

市議会に興味を持っていただき、手に取ってもらえるように努めます。また、分かりやすく読みやすくする工夫を心がけるとともに、市民からの要望、意見を大事にし、市民のかかわりを重視した親しみのある広報紙を目指して取り組んでいきたいと思えます。

(伊波良明)

- 委員長 真栄城隆 副委員長 宮里朝盛  
 委員 伊波良明 佐久田悟 兼本光治  
 國場正剛 又吉法尚 幸喜勇

金城加奈栄 国吉亮

無料アプリ「マチイロ」で市議会をもっと身近に!



アンドロイド



iphone, ipad